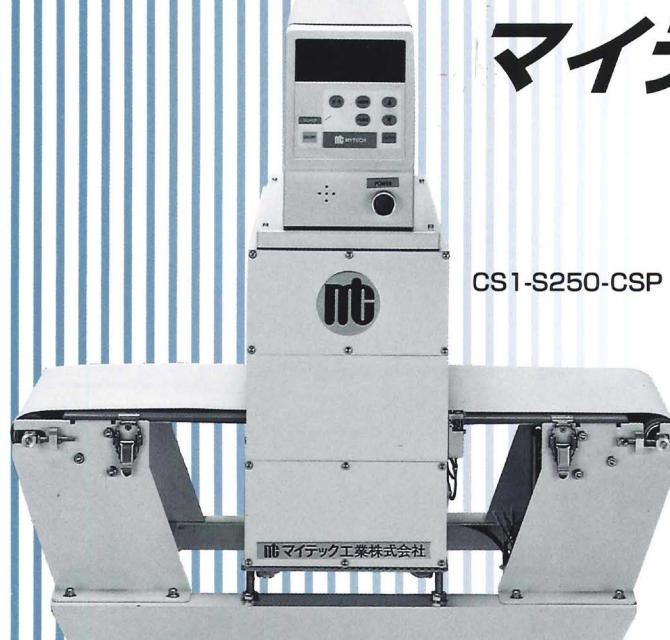


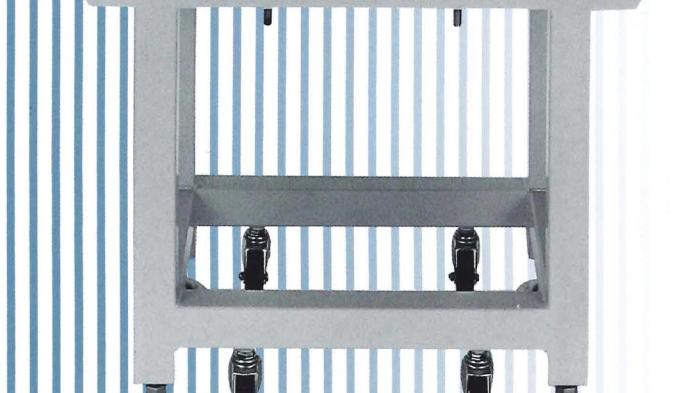
最先端テクノロジー
ニュー金属検出機



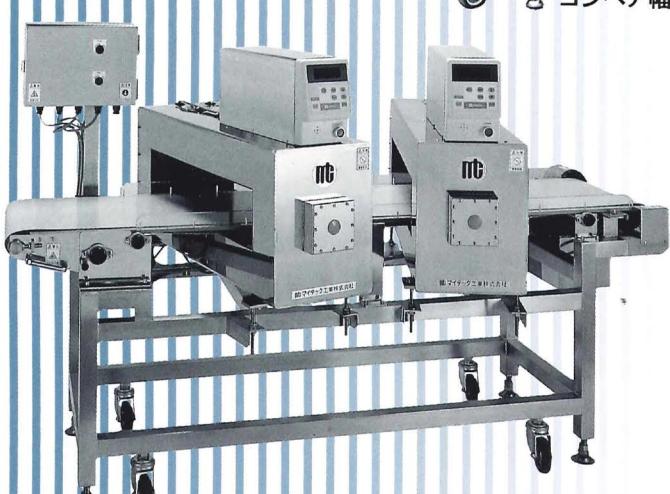
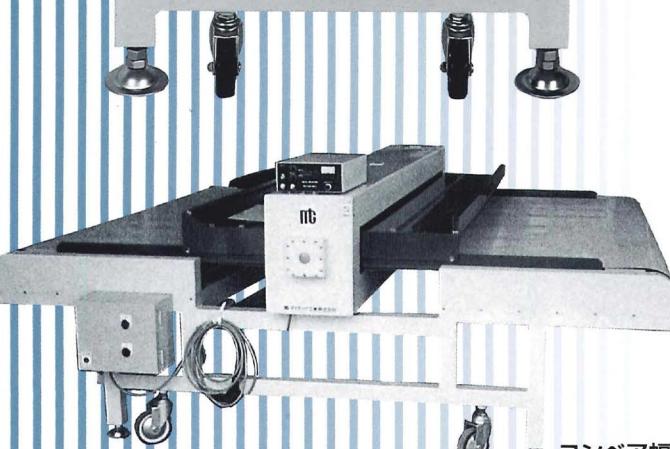
最先端テクノロジーを追求する マイテックの金属検出機



CS1-S250-CSP



コンベア幅2000



ダブルヘッド式

1958年に国産初の金属検出機を開発して以来約半世紀、この間に培った設計ノウハウと技術をもとに、マイテックではさらなる製品の改良と新製品開発に努めてまいりました。幾多の他社類似機参入の中でも、マイテックの金属検出機は常にこれらを凌駕する最先端の性能を維持しています。製造物に対する責任をより厳しく定めたPL法の制定の中で、今や標準型金属検出機をラインに組み込むだけではなく、個々のラインやマシンに合わせて最適の金属検出機を設計し、皆様に使用していただけた時代になりました。そしてさらに、従来取付け不可能と考えられていた場所にも、金属検出機の設置を可能にすることが、ますます必要になってきています。また、今までなくより高い検出感度が求められています。金属検出機の感度は電子的工夫だけでは得られず、いかに素性の良い信号を発信するかという、検出ヘッドに関する工夫がたいへん重要です。マイテックでは独自の開発技術によって、ステンレスの検出に関しては、他社に類をみない最高感度を可能にしました。

今までに積み重ねてきた数多くの実績をもとに、皆様のご要望に合わせて最適機種のご提案、及び設計を承っております。どうぞお気軽にご相談ください。

●周囲の金属の影響を受けない金属検出機を可能にしました
従来の金属検出機取付け場所に対する常識を打ち破り、非常に狭い場所でも取付けが可能になりました。また、ベルト式でも非常に短いものが設計可能です。

●電磁界(電波)の放射方向を選択

製品(被検査物)から出る複雑な製品信号の影響(プロダクトエフェクト)は金属検出機の感度を妨害します。この妨害の大きさは、製品が正立方体状または球状でない限り、その製品の前後方向、上下方向、また左右方向からの電波のあて方で大きく異なります。一つの検出部は一方向の電波しか放射できません。マイテックでは、このX、Y、Zの3方向のそれぞれの放射方向を持った検出機を標準化しており、これらの中から最適の検出機を選定することができます。

●専用金属検出機の製作

例えば包材がアルミであったり、パックのなかに脱酸素材が封入されていたりなどの理由で、本来検出可能な感度が得られない場合、注入ノズルに小さな金属検出機を使用するなど、そのライン専用の検出機を設計いたします。

●その他の特殊金属検出機

CST持ち出し監視装置(コンピュータ・システムテープ盗難監視)、プラスチック爆弾搬入監視装置など。

日本銀行、都市銀行各行、生命保険会社、証券会社などに納入。これらの装置は世界に例のないマイテック独自の装置です。

各部構成・種類

■金属検出機の構成及び表示方法(記号)

構成: 金属検出機本体+オプション

- 本体: 制御部+検出部
- オプション: ベルトコンベア、シート、選別排出装置、補助パイプ、良・不良品受函、エアコンプレッサ、その他

表示記号

● 本体のみの例

CS2-S250(制御部型式-検出部型式)

● 本体+オプション(ベルトコンベア+選別機)例1

CS2-S250-CSG(本体型式-オプション型式)

● 本体+オプション(シート+選別機)例2

CR2-PK80-SHG(本体型式-オプション型式)

■各種取付け方式、使用途、及びその専用記号例

- ベルトコンベア式
CS3-SD250-CSG(C=コンベア)
- 垂直落下式(独立架台付き)
DR2-PK70-SHG(S=シート)
- 垂直落下式(客先パイプライン直接取付け)
DR2-P200-P(P=補助パイプ)
- 粘性物体・流体用パイプ式
DR2-PK70-BV
- ノズル取付け式
DR2-PK50
- 底面検出式(底面に沈殿した金属の検出)
CS2-FC100-CSG
- ピロー包装機用
DR2-PK100
- 人体所持品監視用
- 金属・重量選別機、その他

感度について

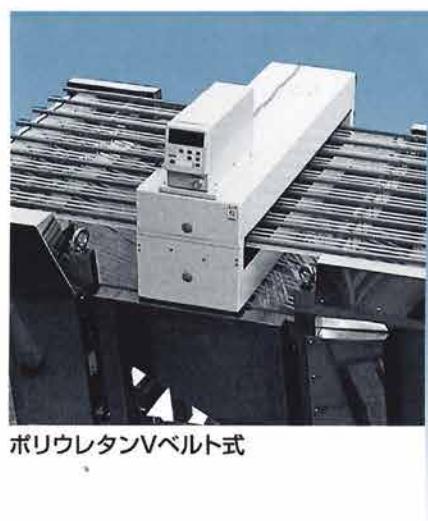
製品を金属検出機に通すと、ほとんど例外なく『プロダクトエフェクト』と呼ばれる製品自体の複雑な信号が発生します。マイテックではこの製品信号の影響を排除するためにさまざまな工夫をし、感度を向上させてています。

- 金属検出機の感度は、通過トンネルの断面積が小さいほど向上します。
- 感度は通常検出できる最小の金属球の直径 ϕ で表します。
- 裸感度 上記の製品信号がない場合、すなわち製品を通過

させず金属のみを通過させた場合に検出する、最小金属の大きさを裸感度といいます。

135mm幅×23mmの検出面積の場合、鉄0.1 ϕ 、ステンレス0.3 ϕ を検出します。

- 実感度 製品と共に金属を流した時に検出する金属の大きさです。製品により、またその温度により異なります。サンプルテストの後、実用感度を決める場合もあります。
- 金属の種類や大きさ、形状によっても感度は異なります。弊社営業マンにお尋ねください。



■制御部の種類

型式	記号	特長
CS型	CS1～CS6	据置式、コンピュータ内蔵、自動バランス調整、自動感度調整、最大99品種登録可能
CR型	CR1、CR2	壁掛式(リモート式)、 その他の性能はCS型と同じ
DS型 (補修用)	DS1、DS2	据置式、自動バランス調整、自動感度調整
DR型 (補修用)	DR2	壁掛式(リモート式)、 その他の性能はDS型と同じ
BS型 (補修用)	BS1、BS2	据置式(DS型の横幅を狭くしたもの)、 その他の性能はDS型と同じ
ES型	ES5	据置式、アルミパック製品対応



制御部
CS型

■検出部の種類

型式	記号	コイル方式	最大有効検出幅(mm)	開口高さ、その他
Cタイプ	C000	クローズド式	3000まで可能	開口高さ 注文設計 将来の可変 不可能
SCタイプ	SC000	クローズド式	350まで可能	小型Cタイプ 開口高さ 注文設計 将来の可変 不可能
Sタイプ	S250 S350 S400 S500 S600 S750 S1000 S1200	スプリット式	250 350 400 500 600 750 1000 1200	開口高さ 注文設計 将来の可変 可能
SSタイプ	SS150 SS200 SS250	スプリット式	150 200 250	小型Sタイプ 開口高さ 注文設計 将来の可変 可能
SDタイプ	SD150 SD200 SD250 SD350	クローズド式	150 200 250 300	新開発小型検出部、普通ーアルミ蒸着切替型 開口高さ 100mm 新開発小型検出部、普通ーアルミ蒸着切替型 開口高さ 100mm、150mmの2種
Nタイプ			3000まで可能	新開発検出部
FB、FCタイプ	FB100 FC100		100(ベルト幅) 100(ベルト幅)	ベルトの下面から検出 沈殿した金属を下面から検出 アルミ箔蓋製品対応
PKタイプ	PK000	パイプ式	300φまで	パイプを貫通させ使用
Fタイプ	F000		2000まで	アルミ包装品対応

各部構成・種類

■選別機の種類及び専用記号

→ 不良品

コンベア・ストップ式 CSP		ドロップ・ゲート式 CDG	
スイング・ゲート式 CSG		交互スイング・ゲート式 CKS	
エア・ジェット式 CAS		ベルト・ドロップ式 CBD	
ベルトアップ式 CBU		エア・プッシャー式 CAP	
ベルト・リバース式 CBR		ベルト・スイング式 CBS	
シャトル式 CVB		キャリア式 CAR	
トラバース式 CTR		チップ・マーカー式 CCM	
ホッパ・スイング式 SHG		シート式スイング SSG	
		シート・ドロップ式 SDG	
			ボールバルブ式 BV



選別機付き落下パイプ式



選別機付き錠剤用

CAR型キャリア式

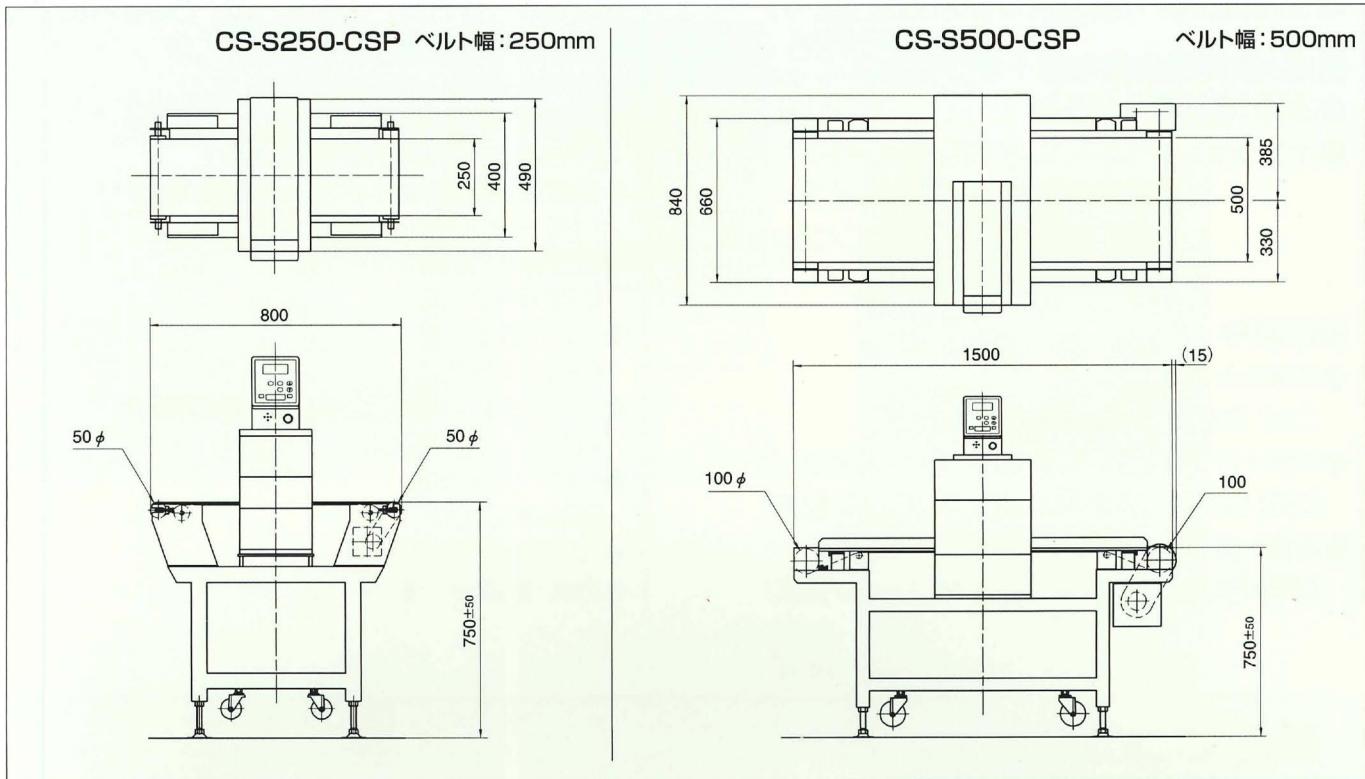


■ベルトコンベア取付け例

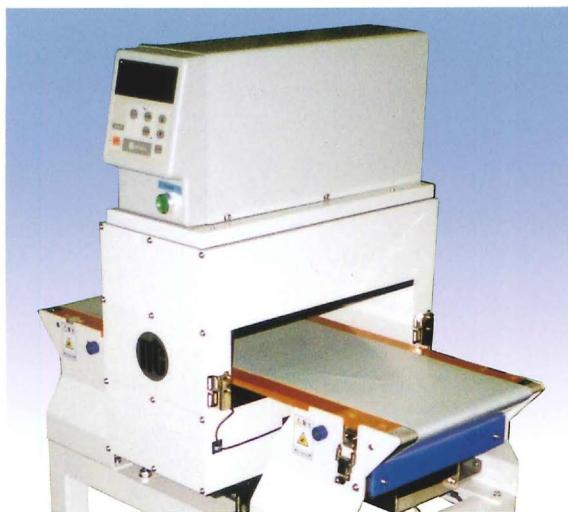
- 検出部の有効検出幅に対応できる全ての幅のベルトコンベアを用意しています。
- 傾斜型コンベア、インフィードコンベア、整列コンベアなども製作いたします。

ベルトコンベア標準図

単位=mm



- パイプ取付け、傾斜シート取付けについては「パイプ式」のカタログをご参照ください。
- 検針機及び金属・重量選別機については専用のカタログをご参照ください。



両端ナイフエッジ式
コンベア



金属検出機付き
重量選別機

※各機種の寸法その他記載事項につきましては、お断わりなく変更する場合がありますのでご了承ください。